

施策マネジメントシート(令和4年度目標達成度評価)

シート1

作成日 令和 5 年 10 月 2 日

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	10	生涯学習の推進
-----------	---	-------	-----	----	---------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

1 施策の目的と指標

対象	市民、市外からの通勤・通学者	意図	生涯を通じて学習を行っている
----	----------------	----	----------------

成果指標		単位
A	月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合(市民アンケート)	%
B		
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	30年度現状値	数値区分	2年度	3年度	4年度	5年度	評価	背景として考えられること	
A	%	36.7	成り行き値	36.7	36.7	36.7	36.7	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出や様々な活動の自粛を求められ、巣ごもり需要として生涯学習活動の継続や新たな活動を開始した人が増えたものと考えられます。
			目標値	37.0	38.0	39.0	40.0		
			実績値	31.2	40.2	45.0			
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
生涯学			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			2年度	3年度	4年度	5年度	
事務事業数			本数	13	13	13	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,840	413	0	
		都道府県支出金	千円	1,578	0	43	
		地方債	千円	0	0	319,600	
		その他	千円	16,991	0	26,322	
		繰入金	千円	0	22,327	0	
		一般財源	千円	316,612	322,398	369,766	
	事業費計(A)		千円	337,021	345,138	715,731	0
	(A)のうち指定経費		千円	2	2	0	
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0		
人件費	延べ業務時間		時間	9,385	9,670	10,345	
	人件費計(B)		千円	37,005	37,809	39,373	
トータルコスト(A)+(B)			千円	374,026	382,947	755,104	0

※成果指標の目標値設定とその根拠

A	<p>月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合についての成り行き値は、これまで各種講座などの学習機会におけるのべ参加者数は増加傾向にあります。関心度の高さや人口増加率に比べ平成30年度の現状値の数値が低いことから、大きな変化はないものと考え、平成30年度の実績値で推移するとして令和5年度を36.7%に設定しました。目標値は、多様な学習ニーズに応えるため、学習を阻害している要因を分析し、学習機会の充実をより一層図っていくことで、令和2年度を37.0%とし、以降各年度1.0ポイントの増を目指し、令和5年度を40.0%と設定しました。</p>
---	--

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

①施策の基本方針

- ・学習活動に取り組みやすい環境づくりと、学びへの参加のきっかけづくりに努めます。
- ・各施設の計画的な維持管理に努めます。
- ・地域のコミュニティ活動の活性化を図るため、地域学校協働活動を推進します。

②協働によるまちづくりの具体策(施策における市民と行政の役割分担)

市民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、学習意欲を持ち、ライフスタイルに合わせ自主的に取り組みます。
- ・地域では、学びを基本としたコミュニティづくりに努めます。
- ・団体は、自立した自主的活動を行います。

生涯学習講座の内容の見直しや、周知の強化に努めること

- ・市は、学習機会の提供と情報発信を行います。
- ・市は、各施設の安全で安心な施設管理・運営を行います。
- ・市は、各団体や地域における活動の支援を行います。

③施策の現状(第2期計画策定当初)と今後の状況変化

- ・生涯学習主催講座において、民間委託を積極的に導入しています。
- ・住民のニーズに即した学習機会を提供しています。
- ・各施設の老朽化に伴い計画的に改修を進めています。
- ・施設更新経費や維持管理経費が増加しています。
- ・地域コミュニティの互助・共助の機能が低下しています。
- ・学校と地域の連携・協働の重要性が求められています。

④この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

(令和4年度(令和3年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・様々な利用者のニーズを調査し、生涯学習講座の時間を工夫すること。
- ・コロナ禍による催事の減少で地域コミュニティの互助、共助の機能低下が心配される。収束後の講座等の拡充について検討すること。

(令和4年度(令和3年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・イベントや講座等の内容の充実を図ること
- ・社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと
- ・子ども会の活性化を行うこと

4 施策の評価

①施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和4年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①「新しい生活様式への支援拡充と利用しやすい環境整備として、生涯学習施設のインターネット予約等の導入を検討します。」については、生涯学習施設のインターネット予約は、利用者のニーズも含め引続き検討が必要です。

②「幅広い年齢層を対象に健康づくりを基本テーマに教室・講座・文化活動メニュー等、内容の充実に努めるとともに、効果的な情報発信に取り組みます。」については、生涯学習主催講座において民間委託を導入し、教養・語学・趣味・生活・健康講座を開催することができました。また、幅広い世代への情報発信として、ホームページやFacebookを活用し、受講風景や内容等を紹介し主催講座の周知を図るとともに、昼間に働いている人や親子での参加を促進するため夜間や土日の時間帯に開設し幅広い年齢層の拡充に努めました。さらに、新型コロナウイルス感染防止の観点や、子育て中の方も気軽に受講できるオンライン講座を開設し、住民のニーズに即した学習機会を提供することができました。

③「図書館3館とマンガミュージアム及び歴史資料館が互いに連携し、効果的な利活用を図るとともに、それぞれの魅力発信に努めます。」については、図書館の郷土コーナーに設置されていない文化財書籍を整理し、次年度に設置する準備を行ないました。また、マンガミュージアムと連携し「竹迫城城下文化財マップ」に掲載するキャラクターを制作するなど、相互の魅力発信に努めました。

④「生涯学習施設の長寿命化のための予防保全を施し、長期に渡って使用し続けられるよう、安全・快適な生涯学習施設の提供に努めます。」については、各施設の各設備等の保守点検業務委託を行なったほか、総合センター「ヴィーブル」の電気設備更新工事や文化会館の改修工事に着手するなど、利用者の安心・快適な提供に努めました。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、令和4年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事業としては、生涯学習講座運営事業があげられました。

貢献した事業としては、図書館管理運営受託事業、アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業があげられました。

②施策の課題(令和4年度の施策の振り返りから見る課題)

- これまで学習に参加できない人の掘り起こしや、多様なニーズに対応した学習機会の充実が必要です。
- 各施設の計画的な維持管理や更新が必要です。
- 地域のコミュニティ活動の活性化が必要です。

5 施策の令和4年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて令和5年7月20日)

- 国際社会など時代のニーズに合ったイベントや講座の充実を図ること。
- 社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと。
- 図書館及びマンガミュージアムの指定管理の妥当性や方向性を検証し、次期運営に向けた方針決定に取り組むこと。

②総合政策審議会での指摘事項(令和5年8月3日、8月10日、9月1日のまとめ)

- 生涯学習講座の内容の見直しや、周知の強化に努めること。
- 社会教育施設を平等に利用できるよう工夫すること。

③議会の行政評価における指摘事項(令和5年9月1日)

- 学校や地域コミュニティと連携し、学習機会の充実を図ること。
- コミュニティセンターを中心とした自主事業を今後も継続し市民の交流、健康維持に努めること。
- コミュニティセンター活動や地区公民館活動の活性化を図り、主催講座の情報発信の強化を図ること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和6年度合志市経営方針(令和5年10月2日)

- ①多文化共生社会のニーズに合ったイベントや生涯学習講座の充実を図るとともに周知の強化に努めます。
- ②利用しやすい安全安心な社会教育施設の環境整備に努めます。
- ③学校や地域コミュニティと連携し、学習機会の充実を図ります。
- ④地区公民館活動の活性化を図るとともにコミュニティセンターを中心とした自主事業や活動、また、主催講座の情報発信を支援しながら市民の交流、健康維持に努めます。